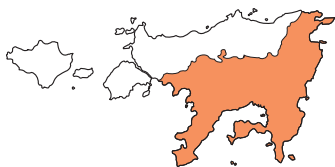


議会

だより



小豆島町

No.38

平成27年11月1日 発行



黄金色のなかに、彼岸花見つけられるかな

子どもセンター園外活動(中山)

- 審 議 議 案
7月臨時会・9月定例会について…… 2
- 一 般 質 問
10名の議員が質問 …………… 3～9
- 住民の声・町の力 …………… 10

7月臨時会

第1回臨時会は7月31日に開催され、専決処分1件（町の債権の支払請求に係る訴えの提起について）を報告、次の2議案が提案され、それぞれ原案の通り可決されました。

補正予算

一般会計（第2号）

1,321万8千円
主な補正は7月の台風11号による災害復旧費856万円

工事請負契約

安田ポンプ場ポンプ設備工事（その2）
Q なぜ今回から最低制限価格の導入なのか。
A 法の改定に伴い、27年度より導入しています。

9月例会

第3回定例会が9月15日、17日に開催され、平成27年度の補正予算議案が4件、町水道基金条例などの3議案を委員会付託、条例3件、契約1件、その他案件4件、報告6件など合計21議案が提案されました。議員発議による意見書1件、それぞれ原案どおり可決しました。また、平成26年度の決算認定議案は閉会中に特別委員会で審議されることとなりました。

一般会計

追加補正予算額 6億1,472万2千円

審議した主な議案

補正予算

一般会計（第3号）

追加補正予算額
2,472万2千円

一般会計（第4号）

追加補正予算額
5億9,000万円
主な内容は左記のとおりです。

総務費関係

瀬戸芸2016に向けた取り組み等
1,599万円

芸術作品展示会場等の改修や食プロジェクトの推進にかかる経費です。

衛生費

水道基金積立金
1億1千万円＋5億9,000万円＝7億円

小豆島中央病院
企業団負担金

▲1億8,429万円

商工費

オリーブ公園
魅力創造事業等
2,010万円

芝生広場等の環境整備を行い、遊具を設置します。

土木費

草壁港トイレ工事
3,000万円

新規条例

小豆島町水道基金
条例について

水道事業の健全な運営及び、これに関連した地域の活性化を図るため、基金を設置するものです。

条例の一部改正

小豆島町手数料

条例の一部改正
マイナンバー制度導入に伴う、通知カードと個人番号カードの再交付に係る手数料の改正です。

小豆島ふるさと村

条例の一部改正
繁忙期の宿泊利用料金を増額するものです。

その他審議事項

小豆島町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

会計制度の変更による未処分利益剰余金の資本金への組入れと、利益剰余金の一部を一般会計に納付するものです。

小豆島町水道事業会計資本金の額の減少について

水道事業会計資本金29億円のうち5億9千万円を減少し、利益剰余金に振り替えるものです。

議員発議

特別支援学校設立に関する意見書について
小豆島における特別支援学校の設立に向けた検討を進めるよう、意見書を提出することを可決しました。

提出先
・県知事
・県教育委員会教育長
・県議会議長

報告

健全化判断比率

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、簡易水道事業・上水道事業・介護老人保健施設事業・病院事業会計での資金不足比率が公開され、いずれの数字も問題ないとの報告がされました。
現在の小豆島町の財政状況は「健全」ですが、小豆島中央病院の建設事業が継続し、また、内海病院の跡地活用や新たな埋立処分地の整備事業など、多額の財政需要が見込まれています。
その一方で、普通交付税の合併算定特例が平成28年度から段階的に縮小することから、今後の財政運営は予断を許さない状況が予想されます。



町の大切な施政方針を 広げるために

町「地域医療を守り育てる会議に
島民皆様に参加いただきたい」

質問 先日、発表された「小豆島の地域医療を守り育てる島民会議」の結成は新聞で知り、突然で議員は蚊帳の外印象がある。

以前、小学校統合問題も新聞で知り、私達には知らされず突然でした。それぞれ代表が入っているから「民主的で良いじゃないか」で

は不十分だと思う。ダム建設や高潮問題など私達議員も参加して汗もかいてきた。上意下達のではなく、仕上げを大切にしてもらいたい。町に要請すれば地区労など説明にきてもらえるのか。

答弁 対話は大切だ。今年の4月、5月町政

農業、商業、あらゆる

企業の発展について

町「町長始め職員が先頭を切ると共に、

住民に理解を戴く」

質問 プレミアム商品券に人気が集まっているが、私達消費者が先を考えた買物をしなけ

れば、一時的な掛け声で終り地方は疲弊していくしかない。小豆島町を企業と見れば大企

組合と交流会をしてきたが今は見る影もない。商工会の「孫の手マーケット」も始まった。町の決意を聞きたい。

組合と交流会をしてきたが今は見る影もない。商工会の「孫の手マーケット」も始まった。町の決意を聞きたい。

答弁 プレミアム商品券3万セットは完売した。皆んなで町の商店を利用するという事は町の活性化・地域の活性化に必要である。

町長をはじめバス利用など職員が先頭を切るのは当然だと思うが住民の方に理解をして戴くのが大きな条件と考えている。

病院問題などを含め、婦人会や老人会などにも説明したい。



酒組合（当時）と東部地区労の交流会風景

定時放送時間の 改善について

町「変えるには相当の理由がある」



商工会の「孫の手マーケット」（安田東）

質問 NHKを始め朝7時のニュースの時間に町の「定時放送」も始まる。この時間を少

しずらして欲しいという声とニュースは後でも見られるという声がある。生活の大きなポイントでもあり、難しいと思うが町の考えは。

答弁 朝の放送を変えるのは相当の理由が要る。昭和49年・51年災害の教訓から防災行政無線として合併前から定着している。

家庭、事業所、施設の家屋に7,000台設置・再度聞くことも可能だ。ライフスタイルによっていろいろ意見がある。議会の中でも議論してもらいたい。



定時放送の録音風景



坂口 直人 議員

小豆島の公共交通の 抜本見直しの状況について

町「バス運賃上限300円を

協議会と合意」

質問 小豆島の北部に位置する福田、吉田に居住する地域住民にとつては、病院や高校が、さらに遠くなり、移動の面で大きな負担となっている。

公共交通協議会により運賃の上限を300円とする合意が得られた。

トワークサービスを整える。

公共交通の抜本的な見直しは第3回の瀬戸内芸術祭や新病院の開院、新しい高校のできる今が、チャンスだと考える。

今後は、協議会においてニーズに即したダイヤ編成、乗り継ぎの改善等について議論を進める。そして、まちづくりの地域戦略の一つとして、バス運行が長期にわたって継続できる地域公共交通ネットワークを進める。

平成28年度より、5カ年計画を盛り込んだ小豆島地域公共交通網形成計画を策定する。

また、幹線に接続をする町の支線についても、島民の通院や通学の足を確保するという観点と並行して準備を進める。

また、幹線に接続をする町の支線についても、島民の通院や通学の足を確保するという観点と並行して準備を進める。

考える。

第3回の小豆島公共交通協議会が開催されたが、大きな課題である運賃の値下げ等について、今後の状況は。

答弁 第3回協議会において運賃の上限を300円とする値下げ案を土庄町と共同で提案し、最終的に小豆島地域公



抜本見直しとなるオーリーブバス路線



原 勇 議員

人々が求める 食品づくりへの転換を

町「企業をサポートできる

体制を強化したい」

質問 七十年前の食料難の時、さつまいものつるを醤油で煮て島外へ売り出したのが佃煮業のスタートだった。

答弁 今日まで小豆島を支えてきた醤油、佃煮の地場産業は食生活の多様化、原材料の高騰で大変厳しい経営環境にある。これを打開するには消費者が求める商品づくりが必要である。

産業の若手スタッフも消費者ニーズの把握に取り組もうとの動きも出てきた。

以来、先人たちは商品開発と販売の努力をして今日まで島の経済を支えてきた。

新病院、新高校、瀬戸芸なども必要であるが、島民の職場である地場産業が元気になることが必要不可欠であるので今後も更に努力していく。

発酵食品研究所や県の産業支援財団と共に取り組んでいる。食品

しかし、今ではスーパーやコンビニで商品があふれ全国どこでも欲しい商品が買える時代になっている。

佃煮類は塩分を基本にしているが最近健康志向で少し遠ざける時代になっている。人々が求め、欲している食品は何か、調査探究を町が主体的に取り組んでほしい。

発酵食品研究所や県の産業支援財団と共に取り組んでいる。食品



佃煮業の先駆者 武部吉次 像



安井 信之 議員

瀬戸内国際芸術祭2016へ

向けた取り組みについて

町「英会話スタッフの育成や

Wi-Fi増設等ソフト面の充実に取り組む」

質問 ソフト面での対応が必要では。

答弁 2013の瀬戸内国際芸術祭では島全体で期間中19万人の来訪者があった。

また、高齢者の方々

を始めとするおもてなしは来訪者に好評でもあり、高齢者の活躍の場にもなった。来年の瀬戸芸でも続けていきたいと思う。

2013年の反省でアートの作品のみならず

ソフト面の対応がとても重要である。例えば、案内板等をきちんとする事・Wi-Fiを設置するといったソフト面での充実ではないかと思う。来年の芸術祭に間に合うように対応したい。

町施策の実現と小豆島中央病院企業団

との関わりについて

町「障害者福祉サービスとして

シヨートステイを準備中」

質問 町施策の実現と小豆島中央病院企業団とのかわりについて。
①島内で遅れている障害者施策をどのように実現していくのか。
②専用の部屋を確保すべきでは。

な重度の障害者に対するシヨートステイの準備を進めている。小豆島町に必要な障害者福祉サービスあるいは医療施策が企業団の病院において反映できるような努力をしたい。

答弁 ①現在、小豆島中央病院企業団においては医療的ケアの必要

障害者福祉サービスとして空き病室を利用したシヨートステイを実施する方向で準備を



障害者福祉施策が期待される新病院

進めている。開院と同時に事業を実施できるように申請を行う。
②専用の病床の確保は今後の運営の中で企業団の中で考えたい。



柴田 初子 議員

主権者教育について

町「学習指導要領の見直しを

踏まえ取り組んでいく」

質問 選挙権年齢が20才から18才に引き下げることが決定した今、義務教育現場における主権者教育についての考えと取り組みは。

答弁 義務教育においては子供たちが社会の

中で自立し、他者と連携・協働しながら生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担うことが出来る力、違った意見に耳を傾け合意形成する力を身につけられる教育を推進している。

平成23年度から実施している小・中学生議会も6年生全員が質問又は傍聴の経験ができるように調整している。提案の新聞又は町広報議会だよりの活用は大変大事なので教材として取り扱いたい。

オリーブの収穫と搾油について

町「全国から収穫者を募るのは現実的に困難」

質問 オリーブ収穫時の人手不足解消に収穫体験者を全国から募集する考えは。オリーブ搾油機の新たな導入計画は。

答弁 人手不足解消についてはシルバー人材センターが作業員を派遣することで対応して

いる。栽培管理が困難な園地は農地中間管理機構で農地の貸借を推進したい。個人所有地での収穫体験については現実的にはハードルが高い。収穫体験はオリーブ公園の収穫祭に来て魅力を感じてほしい。搾油機は収穫量の増加に伴い依頼件数も



新たに導入した「搾油機」

増加したので新たに50kg級を追加導入している。今後も収穫量や搾油実績等を注視しながら導入の有無を検討する。



松下 智 議員

再生可能エネルギー（太陽光発電等々）

と農地法の規制関連を問う

町「重要性は認識しているが、自治体が真正面から直接関与できる制度がない」

質問 農地法等の厳し

すぎる土地利用規制の中でも、最大のネックになるのは「農業振興地域整備計画」であり、農用地区域内の農地にあつては、私有地であるにもかかわらず、原則として農地の転用は不許可とされている。この計画の見直しによる適用除外によって救済される面が多々あると思われる。本町での次期見直しは、いつ頃になるのか。

答弁 農業振興の整備に関する法律「農振法」は、国土の限られた農地を将来にわたって、いかに保全するかが本

旨であり、農業の振興

を図るべき地域を農業振興地域として指定している。この指定によって土地の所有者は、農地以外に転用したくても原則的には除外できない制限がある。

反面、農道や水路の土地改良事業は、農用地区域であることが要件となつている。窮屈な面と有利な面があることを理解願いたい。

この整備計画は10年後を見通した計画であるが、おおむね5年ごとに必要に応じて見直すことになっている。現計画は、平成24年度に策定している。

質問 この整備計画で

は、農地に指定されている土地であつても現況が山林・竹林などであり、全くの耕作放棄地と見受けられる土地も数多くある。

農地の確保に固執するあまり、これら土地の有効活用が図られていないと思われるが、次期の整備計画を見直す段階で、農地としても、農地以外でも活用されていない土地の取扱いの考え方は。

答弁 整備計画の見直しは、町の「農業振興対策協議会」において農用地区域の設定基準を作成して見直しを実

施しているが、現況が

荒廃化していても、まとまりがある一体的な団地の場合など、条件によっては農用地から除外されないケースもある。

また、耕作放棄地の再生補助事業や、その他の補助事業も考慮している。次期見直しの際、営農が困難な農用地は、現実に合うような方向で検討したい。

質問 農村地域の振興策として、農業の健全な発展と太陽光発電の両立を促したソーラーシェアリング方式（農業と発電事業を同時に行い、売電収入を得る

ことができる農家」という施策が認可されている。この事業内容とメリット・デメリットは。

答弁 この方式は、農作物の栽培を行いながら、併せて耕作地の上に簡易な支柱を立てて上部で発電を行う「営

農型の発電設備」というものである。農用地区域内であっても農地法の規制からはずされて、一般の農地としての扱いとなり設置が可能となる。しかし、農産物の生産状況の報告義務等が生じる。



有効活用が望まれる耕作放棄地



大川 新也 議員

防犯カメラの設置について

町「まずは町内4港に設置 予算計上」

事件・防犯・高齢者の徘徊等住民の安心・安全を考える上で、必要であると思うが。

答弁 防犯カメラの必要性を検討していたところへ警察からの提案があった。

検討の結果、犯罪者・不審者の捜査等犯罪の早期解決に大きく寄与し、行方不明者・認知症の方の徘徊等捜索に役立つと共に住民の安心・安全を考える上で、必要性を感じ、9月補正で町内4港に新設する予算計上を行った。なお、プライバシーに係る映像であり、映像の管理は、警察に委ねることが適当であると考えている。

質問 防犯カメラ設置については、6月議会で、「プライバシーの問題等があり、関係機関と慎重に検討したい」との答弁であった。その後、7月に開催された小豆地区防犯協会連合会総会において「まずは島内6か所の港への新設を」と2町へ提案された。



町の犯罪を防ぐ防犯カメラ

各種会議・協議会等の人選は

町「町議会への相談が欠けていた」

質問 今、町政全般に関する大切な多くの会議・協議会が開催されている。

そのメンバーは大部分が各種団体等の長で構成されているのが現状だ。果たして住民の声が届いているのか。

最近では創生総合戦略会議・地域公共交通協議会・地域医療を守り育てる島民会議等が発足している。

しかし、その会の中に議員の名はわずかにある。議会は会で決まったことを承認をするだけの機関なのか、議員として会での発言の機会はないのか。

このような人選はどの段階で、どのように決められているのか。

答弁 町政全般で色々な施策を推進する上で、町議会が最も重要な場であると考えている。

町議会の場以外に多くの町民、島民の皆さんの声を聞くということでは協議や協議会が設けられている。

その人選はそれぞれの会の趣旨によって異なり、多くの声を聞くということでは担当課の提案を聞き町長が決められているが、必要と思える方は随時追加する。

また、人選については、町議会に前もって相談するべきであったと反省している。

猪は頭数削減が第一

町「町としてできることは全てやる」

質問 有害鳥獣、特に猪対策は島の最大の関心事であり、より深刻化してきている。

防護柵資材等の助成はあるが、やはり頭数削減策が第一で、もつと積極的に考える時が来ていると思うが。

一例でいえば、自衛隊・猟友会に依頼し山狩りをするといった抜本的な対策・アイディアを考えるべきでは。

答弁 有害鳥獣被害は深刻な課題だと認識している。環境づくり・防護・捕獲の3点セットで町としてやれることは全部やっている。

今後より多くの人の知恵を借りできることを全てやる。国や県の予算でできないことは単独予算を付けてでもやるという覚悟である。



イノシシの被害を受けた収穫直前の稲



中松 和彦 議員

公共交通の

運行体系について

町「島民誰もが安くて安全・安心に
利用できるよう全力を尽くす」

質問 去る8月31日に開かれた「小豆島地域公共交通協議会」において路線バスの運賃体系について、大幅な見直しが必要だと新聞において報道があった。

への配慮は特段に願いたい。
以上の点から運行体系の改善について現時点での考え方・方向性・具体策は。

答弁 利用者のニーズに則した公共交通のあり方の見直しは新病院成否の鍵、ひいては地域の未来を決定づけることも重要なことであると考える。利用者のニーズに則したダイヤの編成、乗り継ぎの改善、さらには本線から外れる地域への配慮も重要であると十分に認識をしている。

さらに、公共交通であるので、とりわけ弱者への配慮もなされることと思うが、いわゆる本線から外れた地域



バス増便が求められる田浦線（寒霞渓より）

でも並行して準備を進めてゆきたい。
新病院や新高校など大きく周辺環境が変わる中、高齢者や障害者などの交通弱者を含む島民誰もが安くて安全・安心なバスを利用して頂けるよう全力を尽くす。

質問 異臭発生時北地浄水場や内海から原水・上水を池田地区へ融通ができないか。また、西村付近にタンクを置き、三都方面への送水ができないか。

答弁 ダム管理者の県



藤本 傳夫 議員

水道水の異臭対策は

町「レイクリフターシステムを導入」

は、水質改善対策としてダム底に空気を送って、上下水層の水を対流させる「レイクリフターシステム」という装置を設置した。設置が8月中旬と遅れたが、結果的には早期にカビ臭は終息した。
今年度、中山浄水場で排水・活性炭注入等の整備を予定している。水融通については、今後検討していく。タンク設置等については、費用面もあるので幾らかかるか検討する。

池田地区畑地灌漑事業の内容は

町「畑灌施設の更新、溜池、農道改良等を計画」

質問 池田地区畑地灌漑事業の構想と内容は。事業規模はどれ位か。全ての灌水組合の統合への各代表者の意向は。町がリーダーシップを持って進めてほしいが。

答弁 県営事業の中山間地域総合整備事業を

利用し、畑灌施設の更新、溜池、農道改良等を計画しており総事業費15億円を見込んでいる。今年度基本計画を策定し、平成30年度に事業着手予定。組合統合は効率的な水利用にとって望ましいため、その方向で進めていく。



池田地区の畑地灌漑図

質問 マイナンバー制度は、国が国民の所得や資産を効率的に掌握し、税金や社会保険料などの徴収強化と、社会保険などの給付抑制を図るもの。情報漏えいや監視社会への不安

マイナンバー制度の 安全対策は

町「セキュリティとして
問題があるとは思っていない」



鍋谷真由美 議員



答弁 町の費用は約4,300万円、うち国が約3,600万円負担する。本人不在等で配達ができなかった通知カードは、住所地の役所に保管する。マイナンバー個人番号カードを受け取る際には交付通知書と通知カード、運転免許証や保険証を持参することになっており、もし十分に確認できないような場合は写真を撮って本人確認をする。全体的なシステムの準備は整っている。

がなくならず、実務面でも準備が大きく遅れており、実施すべきではない。費用や通知カードが届かない人への対応、成りすまし対策、準備状況などはどうか。

町営住宅入居の 保証人緩和を

町「今後
検討したい」

質問 低所得の住宅困窮者のための公営住宅入居に、連帯保証人を絶対要件にすることは制度の趣旨に反する。本町では、保証人2名が必要だが、1名にす

ることや保証人免除規定を設けること、また範囲も広くしていくことが必要ではないか。

答弁 住宅使用料の未収損失をより確実に防止、担保するための連帯保証人を不要とすることは難しいが、2名の連帯保証人の要件緩和を含め、今後、連帯保証人の緩和できる部分を検討したい。



入居希望の多い町営住宅（小坪）

新病院の 医師確保状況は

町「熱意を持って
取り組んでいる」

質問 半年後には、開院する小豆島中央病院の医師確保は、多くの町民が一番心配している。予定通りの診療科での診療ができるのか。各診療科ごとの必要医師数と現在確定している具体的な医師の確保状況をたずねる。

答弁 基本計画では、13診療科35名体制の計画だが、24年には土庄中央病院と内海病院で28名在籍の医師が、現在21名という厳しい状況である。佐藤企業長を中心に医師の確保に取り組んでおり、香川大学から開院にあわせて派遣するという約束と聞いている。麻酔科以外は大体充足される見込みである。

その他の質問「戦争法案について」町長の姿勢を質しました。

中山簡易水道統合は、 住民の声を聞いて

町「十分な説明をし、
ご理解いただく」

質問 中山簡易水道は再来年度からの上水道への統合を予定しているが、地元住民の理解は得られていないのではないかと。地元住民の声をよく聞き、性急な統合は進めるべきではないと考えるがどうか。

答弁 中山簡易水道は昭和32年創設、62年に浄水場の施設改良を行った。浄水場は更新時期だが、用地の関係で更新事業が難しい。施設統合と、経営統合の両方で地元と協議を進めており、結論には至っていないが、地元には十分な説明をし、ご理解をいただくことは必要と考えている。



「弱者救済の 取り組みについて」

かわの 野 良 平

(神懸通自治会 総代)

神懸通自治会は、国立公園寒霞溪の麓で世帯数389戸、人口約900人、5つの地区から形成されています。

地区の行事としては、1月とんど、7月夏祭り、8月川めし、盆踊り、10月天津神社例大祭などが行われています。昨年、念願であった内海ダムが完成し、長年の水不足からやっと解消する事が出来ました。改めて地権者の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

さて、自治会として早急に取り組まなければならない課題として、当地域は路線バスが運行されていない為、高齢者の多くは通院、買い物

に不便な思いをされています。来年開設予定の小豆島中央病院への移動手段にも大変不安を感じています。島内における生活基盤の転換期にあたり、公共交通網の再編過疎地域から国道までへの足としてマイクロバスの活用等も考えていく必要があるのではと思われます。地域住民と行政が一体となって弱者を守る取り組みが望まれるところです。



町民の命と財産を守る内海ダム



中山農村歌舞伎保存会

彼岸花の咲く頃、学校帰りの子どもたちが、ランドセルを背負ったまま、春日神社境内に集まってきました。「お腹すいたー、おやつないん？」とにぎやかな声が飛び交います。しかし、ひとたび、「さあ、練習するぞー」の声がかかると、スイッチが入ったかのように真剣な表情で役柄になります。

山農村歌舞伎を伝承していきます。今年は10月11日に、無事、中山春日神社奉納歌舞伎を終えました。化粧をし、衣装を身につけ、見事、白浪五人男を演じきった子どもたち。皆さんからもらった拍手は、一生忘れることのない大きな宝物として胸に残ったに違いありません。

「中山農村歌舞伎保存会」

久保 政

【お問合せ先】

☎0879(75)1841



編集後記

ようやく猛暑から開放され、朝夕は過ごしやすいい季節となりました。黄金色に輝く稲穂を見ると実りの秋を実感し改めて収穫の喜びに感謝です。

秋の小豆島は、秋祭りあり、寒霞溪の紅葉ありと多くの観光客が訪れます。また来年には3回目の瀬戸内芸術祭も開催され、多くの観光客の来島も見込めます。

これを機に、さらなる小豆島の発展を願い、小豆島の魅力を発信していきたいと思っています。季節の変わり目を迎えて、体調等に十分に気を付けながら読書の秋、スポーツの秋、島の味覚の秋を楽しんで下さい。

今後も多く議会の傍聴をお願いするとともに、より分かり易い広報を作ってまいります。

坂口 直人 記